

---

**QA9-6 除染した後も、森林などに付着している放射性セシウムなどが流れてきて、生活環境を再汚染することはないのですか。**

---

**A**

- ① 調査の結果、森林から生活圏等に飛散する大気中の浮遊じんに含まれる放射性セシウムの量は、空間線量率に影響を与えるような量ではないことが明らかになっています。
- ② また、降雨による放射性セシウムを含む土壌等の森林からの流出は、生活圏の空間線量率に明確な影響を与えるものではないことも明らかになっています。
- ③ さらに、流域から河川への放射性セシウムの年間流出率は、流域の土壌への沈着量の0.02～0.3%程度と見積もられ、流域の放射性物質濃度の変動への寄与は限られています。
- ④ このように、一般的には土壌等の森林からの流出による生活圏の空間線量率への影響は限定的ですが、土壌被覆率が低く、勾配が急でかつ汚染度の高い森林からの土壌等の流出による再汚染があった場合には、対策を実施します。

**統一的な基礎資料の関連項目**

上巻 第4章 171 ページ「環境中での放射性セシウムの動き：森林土壌からの流出」

上巻 第4章 173 ページ「森林中の分布」

上巻 第4章 174 ページ「降下・沈降したセシウムの環境中での移行」

---

出典：①第16回環境回復検討会「森林における放射性物質対策の方向性について」、②福島  
島の森林・林業の再生のための関係省庁プロジェクトチーム「参考資料 森林の放射性物質  
に関する知見」、③福島の森林・林業の再生のための関係省庁プロジェクトチーム「福島の  
森林・林業の再生に向けた総合的な取組」

出典の公開日：①平成27年12月21日 ②③平成28年3月9日

本資料への収録日：平成29年3月31日